

入試年度	2026	入試制度	社会人特別選抜		
学部	家政	学科	食物栄養	領域	—
出題のねらい・評価ポイント					
いかに健康に生きるかの概念である健康寿命に関する文章を読んだ上で，健康寿命延長への取り組みを運動と栄養の観点から問うた問題です。こうすれば健康寿命が延びるという知見が氾濫する現状において，自身の考えと意見を構想し，論理的に構築して文章化する能力を問うのが題意です。必ずしも文章の科学的正確性，妥当性を問うものではありません。 管理栄養士養成課程の学生として，最低限の生物と化学の知識を問うたものです。化学5題，生物3題で構成されています。前者では，化学的理解の基本である物質 量，pHの概念の理解と計算能力を問いました。さらに，化学式を完成させることで化学の定量的な理解を問いました。基本的な化学物質の化学式も問うています。生物の問題では，生物の特徴，構成する成分（糖質）の役割が理解できているかを確認するとともに，生命現象を担う酵素の働きについて問うています。化学，生物いずれも高校の化学基礎，生物基礎を念頭においた問題です。					